

### 旭化成と、カナダでの車載バッテリー用セパレーターの生産に関する協業に基本合意

Honda は、旭化成株式会社と、カナダにおける車載バッテリー用セパレーター生産に関する協業について基本合意しました。今後、2024年中の合併会社設立を目指し、具体的な協議を開始します。

セパレーターは、リチウムイオンを透過させる機能を持ち、正極材と負極材の接触を遮断しショートを防ぐ役割を果たす多孔質膜<sup>※</sup>で、リチウムイオンバッテリーの重要な部材です。両社は、中長期的な成長が見込まれる北米の電動車市場向けに、高性能なバッテリーを安定的に供給するサプライチェーンの確立が重要であるとの共通認識に基づき、今回の合意に至りました。Hondaの北米市場向けEV（電気自動車）に搭載されるバッテリーや、他のOEM用バッテリーに向けて、セパレーターを生産する合併会社設立の検討を進めます。

両社は、付加価値の高い素材技術や電動化技術といった互いの強みを持ち合い、高品質なセパレーターを車載バッテリーに活用することで、高性能なEVを実現し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速します。

※ 多孔質膜：微細な孔構造を持つ膜で、厚み方向に物質透過性を有し、セパレーターやイオン交換膜などに用いられる

#### ■旭化成株式会社 常務執行役員 松山 博圭のコメント

「旭化成は、蓄エネルギー関連事業を『グループの次の成長を牽引する10のGrowth Gears』の1つと位置付けています。その中核事業であるリチウムイオン電池（LIB）用セパレーター『ハイポア™』は、40年を超える事業の歴史の中で技術革新をリードし、LIBの進化に貢献してきました。今回の協業を通して、北米市場で経験が豊富で自動車電動化に注力するHondaとの連携を深め、本格的な電動化時代に求められるLIBの高生産性・高安全・長寿命に貢献することで、北米でのEV市場の成長とエネルギー転換の一翼を担っていきたいと考えています」

#### ■本田技研工業株式会社 執行役常務 小澤 学のコメント

「Hondaは、カーボンニュートラルの実現にむけ、2040年までにグローバルでEVとFCEVの販売比率を100%にするという目標を掲げています。セパレーターはEVに欠かせないバッテリーの性能や耐久性の向上に寄与する大変重要な原材料であり、高い技術力と幅広い知見を有する旭化成とのパートナーシップによって、カナダでの生産に取り組むことは、Hondaにとって大きな意義のあるチャレンジです。この取り組みにより競争力の高いEVを実現し、将来拡大が見込まれる北米市場の電動化需要に応えていきたいと考えます」